



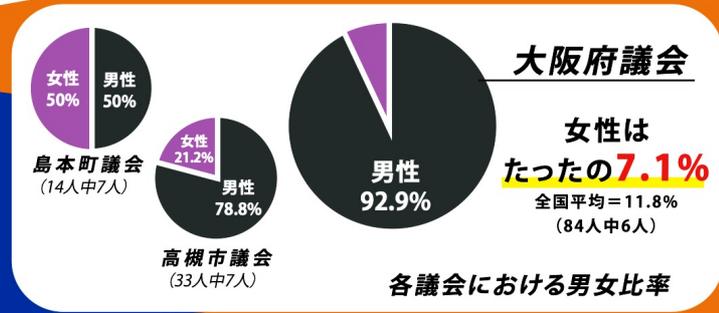
1977年生 阿武野幼、阿武野小・中、三島高卒
 高校時代は演劇部と生徒会活動に没頭。在学中に私服登校を実現

関西外国語大学短期大学部へ入学。語学留学等で多くの国々を訪問
 龍谷大学法学部政治学科へ編入。「議員インターンシップ」に参加
 同志社大学大学院総合政策科学研究科博士課程(前期) 進学
 研究テーマは住民投票やまちづくり条例など地方行政への住民参加
 在学中から高槻CATVネットワークで市民リポーターとしても活動
 高槻市議会に女性や若者が極端に少ない状況を「なんとかせな」と
 一念発起。2003年、25歳で高槻市議会議員選挙に挑戦し、当選
 以降連続4期を務め、副議長・監査委員などを歴任する

2019年 大阪府議会議員選挙初当選
 現在は議員活動と2児の育児、親の介護にも奮闘中
 Twitter #ののあいスペースにて議会の最新情報や
 日々の活動を発信中

府政はもっと近くなる

ののうえ愛



愛ある大阪 命をまもる大阪へ

* コロナ禍の 教訓を生かす医療

新型コロナ禍で明らかになった大阪の「弱点」を**“人への投資”**で改善。大幅な保健所統合など、行き過ぎた行政サービスの縮小・公務員の削減にはNO。

* 万博・カジノよりも 防災投資

一過性のイベントよりも、都市防災インフラへの再投資を。大阪北部地震や台風21号被害を教訓に**命を守る強い大阪に。**

* はたらくと 暮らすを支える

大阪のものづくりを支える中小企業や若者・女性の起業を応援。NPOとともに**持続的な人材育成とキャリア形成を支援**。府営住宅の大規模リノベーションで住宅政策を再構築。若年層の同居も促進し**全世代が安心して暮らせるコミュニティづくり**を。

* 府民の声に応え 機能する議会へ

2度の都構想住民投票に100億円を投じ、“カジノ誘致”では21万筆もの府民の声に耳を傾けず、新型コロナ禍では知事の専断処分が急増し全国ワースト1に。**知事独断の府政を正しくチェックする機能**を議会に取り戻す。

* 子育てと教育

給付型奨学金や**奨学金の返還支援**で若い世代の学びを支援。子どもの自尊心、個性に配慮した教育を重視。子どもを守る学校、行政、警察、司法の新たな連携も。

* これからの民主主義をめざして

4年に一度の選挙だけでなく、**参加型予算策定**や**対話型の政策形成制度**を導入し、府民がいつでも参加できるこれからの政治の仕組みをつくる。



ののうえ愛と大阪を変えよう!集会 開催

2月10日クロスパル高槻にて
 弁士：辻元清美 参議院議員
 大勢のご参加ありがとうございました!!



<https://twitter.com/nonoueai>

大阪府政の最新情報を伝える生配信 #ののあいスペース はだいたい毎日 20:45~21:00

のうえ愛の大阪府議会報告

「府市協調」のメリットとは？ ～夢洲問題から考える大阪府の役割～

大阪湾の埋立地・夢洲で、2025年4～10月に大阪・関西万博が開催予定です。ところがここに来て、同じ夢洲の大阪IR・カジノ予定地の土壌問題が露見したり、パビリオン建設の入札不調・不落といった課題が相次いでいます。会場建設費も当初見込みから600億円も上振れすると決まっており、また、アクセス道路として整備中の淀川左岸線は完成が間に合わず、1000億円以上の追加費用が発生する事態になっています。

今回の万博に際しては、大阪府市が共同で万博推進局を設置しています。会場のある大阪市にはインフラ整備などメリットといえる面もあるでしょうが、会場からも遠い高槻・島本を含めた大阪府全体にとっては、その効果は多額の費用負担に見合うのでしょうか。とくにここ数年、大阪府は台風・地震などの防災対策、そして新型コロナ禍で痛感した医療・保健行政の再構築といった重要課題が明らかになりました。こうした命をまもる公共政策を議論し、府民の皆さんとともに府政をチェックすることこそが、私たち大阪府議会議員の役割です。

続
報

令和の
「米騒動」

約139万人の子どもに
米10kgを現物支給！

金券の提案には...

お米券は転売される。
現金もよくない！

でも結局...

金券ではない独自の
デジタル券を発行...

議会終盤に降って湧いたお米の現物支給 知事の表明から一か月で二転三転

昨年末の府議会で、総額76億5千万円を使って大阪府内の18歳以下の子どもにお米10kgを配布する事が決まりました。吉村知事は当初、金券類は転売の恐れがあるとして現物支給を表明。しかし、およそ139万人分もお米の手配と配送は現実的ではないため、今回のためだけの「大阪府デジタルお米券システム（仮称）」を作ると方針を転換しました。財源は国の地方創生臨時交付金を活用しており、大阪府の独自予算ではありませんが、**もとは私たちの納めた税金**です。

そもそも大阪府は子ども達の最新の個人情報を持っていません。それは日頃から子育て支援事業を行う市町村が把握しているのです。そうした市町村との調整はきちんとなされているのか。私も子育てをしながら高槻市議会議員を務めて、各自治体が地域住民の状況の把握に苦心されていることをよく知っています。府庁と市町村の連携が不十分では、結局、皆さんに最も近い自治体の側が負担を強いられることとなります。12月の一般質問でも、こうした問題意識から担当者への質問を行いました。

さらに、この事業では対象となる**府民への個別案内は行わず、保護者が自ら情報を収集して申請**となっています。**申請は3月開始の予定**です。なんとも不親切な大阪府の対応ですが、私たち自治体議員はその改善を求めつつ、情報が届いた際にはニュース、ウェブサイトなどで皆様にお知らせしていきます。

のうえ愛事務は阪急高槻市駅から南へ徒歩5分、国道171号線沿いです(辻元清美事務所と同ビル)。いつでもお立ち寄りください。また、ウェブサイトでは過去のニュースなどもご覧いただけます。



立憲民主党大阪府連は、上記の見解を公表しましたので、お知らせします

のうえ愛
お問合せ先

大阪府議会議員ののうえ愛事務所 〒569-0071高槻市城北町1-5-23 エクセレント城北1F
Tel.072-669-7790 Fax.072-669-7794 <https://www.nonoueai.net/> info@nonoueai.net